

必ずお読みください

移動形超音波加湿器

FT-M20

FT-M20UV-HK1

## 取扱説明書

このたびは、ユーキャンFT-Mシリーズをお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。このマニュアルをよくお読みになり、取付、保守、点検を行ってください。

要保存

施工業者の皆様へ。  
工事完了後、ユーザーの方へお渡しください。

**ユーキャン株式会社**

## 安全上のご注意

- 取付工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ取り付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。



誤った取扱いをすると人が死亡または重傷を負う恐れのある内容を示しています



誤った取扱いをすると人が傷害<sup>※1</sup>を負ったり、物的損害<sup>※2</sup>が発生する恐れのある内容を示しています

※1 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、怪我、火傷、感電などを指します

※2 物的損傷とは、財産、資材の破損に関わる拡大損傷を指します

- 試運転を行い異常がないことを確認すると共に、お客様に取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この取扱説明書はお客様で保管頂くよう依頼してください。

※トランスボックスに表示している記号の意味について



感電注意を表しています。



- UVランプ搭載機種では、裸眼でUVランプを見ないで下さい。失明の原因となります。
- 濡れた手で電装部をさわらないで下さい。感電の原因となります。
- ACケーブルを傷つける、加工する、引っ張る、無理に曲げるなどのことはしないで下さい。傷ついた部分から漏電して火災や感電の原因となります。
- ACケーブルを束ねたり、結んだりして使用しないで下さい。火災や感電の原因となります。
- 万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常が起こった場合、そのまま使用を続けると火災や感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、主電源を抜いて下さい。その後直ちに販売店または最寄りの営業所（巻末に記載）までご連絡下さい。
- 本器の不必要な分解、改造をしないで下さい。火災や感電の原因となります。

## 注意

- UVランプ搭載機種では、UVランプの光を皮膚に長時間当てないで下さい。
- 運転中は、移動したり振動をあたえないで下さい。感電、漏電の原因になります。
- 不安定な場所や振動のある場所に設置しないで下さい。加湿器が倒れたりしてけがの原因になることがあります。
- ほこりの多い場所、直射日光の当たる場所、高温や火気の近くには設置しないで下さい。火災の原因になることがあります。
- 緊急時に電源を落とせるように、ブレーカーの周りには物を置かないで下さい。発煙等の異常時にブレーカーが落とせず、火災や感電の原因になることがあります。
- 指定以外の電源電圧で使用しないで下さい。火災や感電の原因になることがあります。
- アース線は必ず接続して下さい。
- 回路チェックにメガテスターは使用しないでください。高電圧で電子部品故障の原因となる場合があります。
- 寒冷地、氷点下で使用する場合は、凍結防止の処置を給水配管全てに行ってください。凍結によりホースが破裂することがあります。
- 振動子の寿命は約5,000時間です。使用環境、条件により寿命が短くなる場合があります。
- 水槽内の水を清潔に保つため、3日に一度は水槽内部、及び吹出ダクトホース内部の清掃を行ってください。雑菌が繁殖することがあります。
- 清掃の時は、電源を切って下さい。感電の恐れがあります。
- 加湿器を長時間使用しない時は水槽の水を捨てて下さい。排水をしないで引き続き使用しますと、雑菌等により異臭を発生することがあり、身体に悪影響を及ぼすことがあります。
- 加湿器には水以外の物を使用しないで下さい。故障を起こし、火災や感電の原因になることがあります。

## ◎ 装置同梱付属品

- 取扱説明書……1部
- ダクトホース…2本
- ホースバンド…2個
- 噴霧ノズル……2個
- オーバーフローホース…1本
- 給水タンク……1個（本体に格納）

## ◎ 取付の前に

1. 装置運搬・据え付けなどの時、装置に傷を付けないようにしてください。

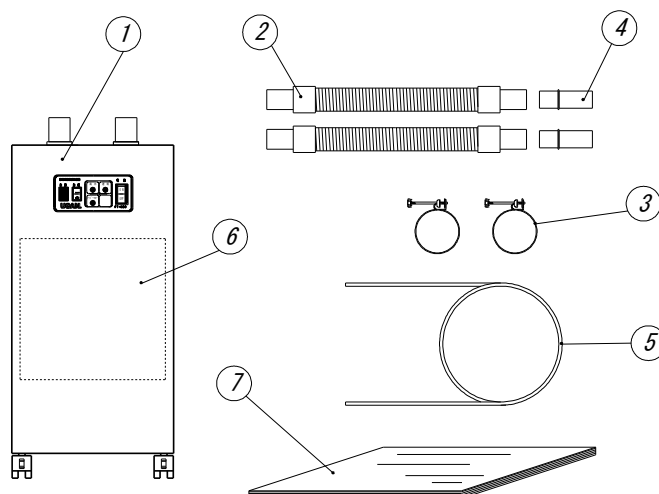
## 1. 準備

### 1. 確認

梱包を開け、欠品、破損の有無などの確認を行ってください。欠品、破損などの不具合が有りましたら、すぐに販売店、営業所に連絡してください。

### 梱包内容

①加湿器本体	1式
②ダクトホース	2本
③ホースバンド	2個
④噴霧ノズル	2個
⑤オーバーフローホース	1本
⑥給水タンク	1個
⑦取扱説明書	1部



## 2. ダクトホースの接続

付属品のダクトホースを加湿器本体のホース接続口に奥まで入れてホースバンドで固定し、ホースの先端に噴霧ノズルを差し込んでください。

## 3. 給水

本体裏面に設けてあるタンク格納場所より給水タンクを取り出し、キャップを外して満水にし、キャップをきつく閉め、元の位置にセットしてください。



## 注意

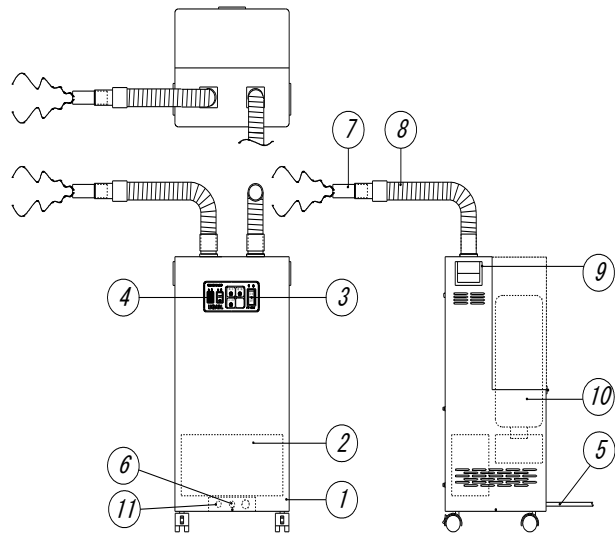
給水タンクを加湿器本体へ装填した後、空気圧の平衡異常で加湿器本体へ給水を開始できない場合があります。

その場合、排水キャップを外し、しばらく放水した後、再度排水キャップを取り付けて下さい。

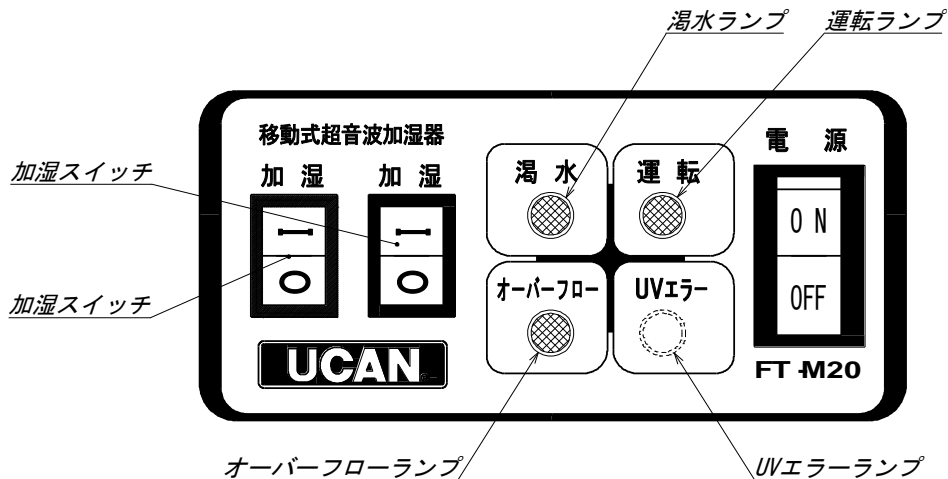
## 2. 取扱方法

### 1. 加湿器の外観と各部の機能

- ① 加湿器本体
- ② 加湿基部
- ③ 操作盤
- ④ 加湿切替スイッチ
- ⑤ 電源コード
- ⑥ 排水口
- ⑦ 噴霧ノズル
- ⑧ ダクトホース
- ⑨ 取手
- ⑩ 給水タンク
- ⑪ オーバーフロー口



### 2. 操作パネルの機能



### 3. 取扱方法

給水タンクが満水になっていることを確認して電源スイッチを入れてください。運転ランプが点灯します。最初の使い始めの場合は加湿部の水槽が空になっていますので湯水ランプが点灯し、給水には約5分余り時間がかかります。しばらくして湯水ランプが消えファンが回りだし、噴霧が開始されます。

加湿スイッチは加湿量の切替スイッチです。スイッチ片側を入れた場合、0.5L/hの加湿量で、両方入れた場合は1.0L/hとなります。

## 4. オーバーフロー停止に関する取扱方法

本加湿器は、オーバーフローした場合、排水配管の接続が出来ないので、加湿器内のタンクに一旦貯水します。このタンクが満水になると操作パネルのオーバーフローランプが点灯し、加湿運転を停止します。この場合には以下の操作を行ってください。

- 1) 電源スイッチを切ってください。
- 2) 容器を用意し、加湿器裏面下部に付いているオーバーフロー口のキャップを外し、排水してください。
- 3) 排水量は約 1 リットルです。
- 4) 排水が終わりましたらキャップを元の位置に戻してください。
- 5) 電源スイッチを入れてください。

## 5. 運転終了

加湿スイッチはそのままの位置でも、切った状態でもかまいません。電源スイッチを切ってください。噴霧が中止します。

# 3. 各部の保守・点検方法

## 1. 加湿器の分解の仕方

### 部品交換や保守点検のために

#### 1) 作業上の注意事項

作業に掛かる前に次の事柄に留意してください。

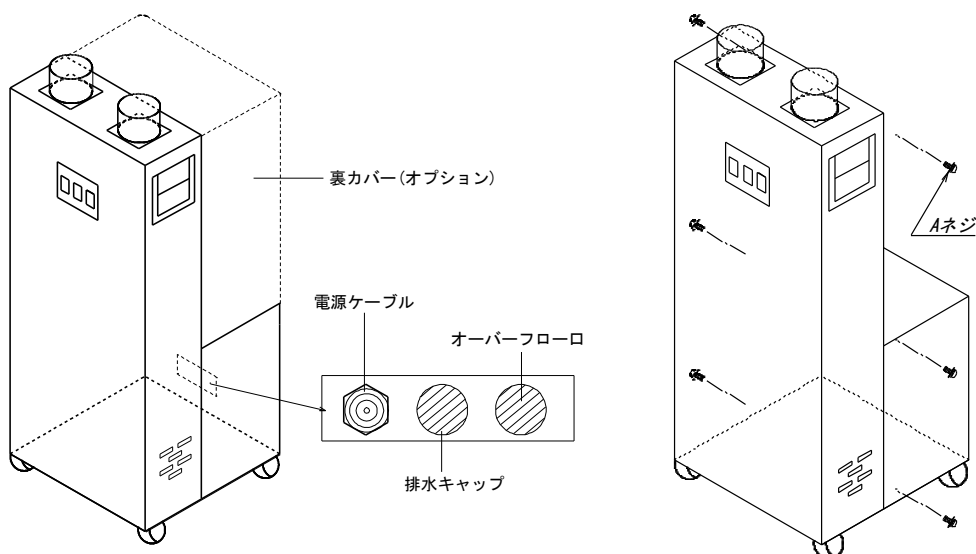
- 保守、点検作業時には 必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
- 作業中、他の部品に水がかからないように加湿器水槽を空にして下さい。
- 加湿器水槽の清掃などの時、振動子の表面に傷を付けない様にして下さい。

#### 2) 作業手順

分解の仕方

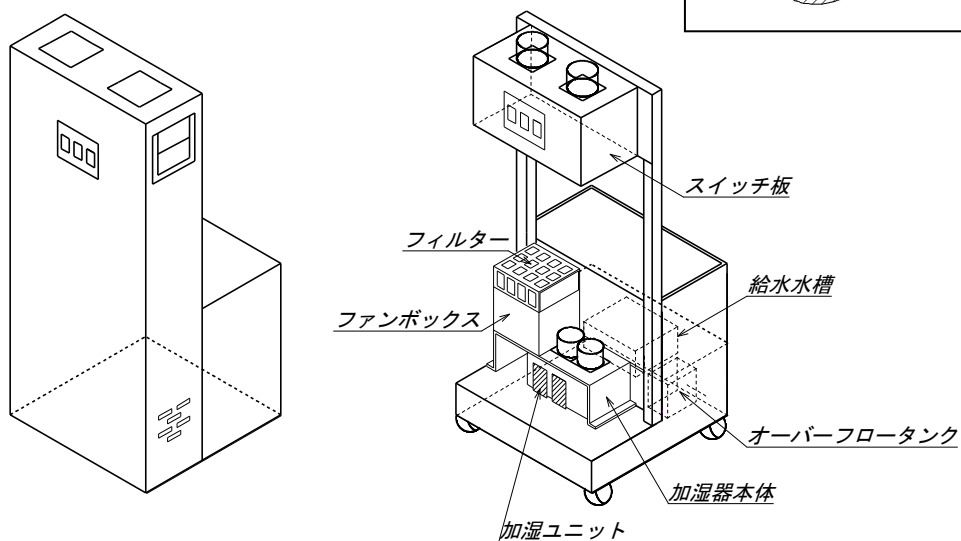
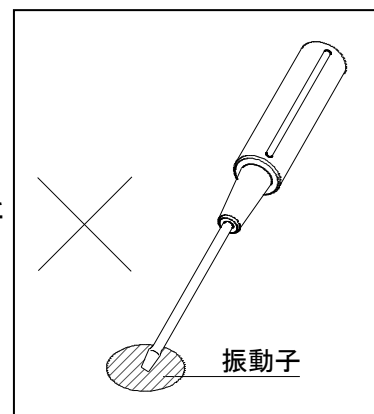
- ①電源スイッチを切って下さい。
- ②右図を参考にカバーを外してください。  
裏カバー(オプション)を開け、給水タンクを取り出して下さい。カバーが付いていない機種の場合はそのまま給水タンクを抜き取ってください。
- ③排水キャップを取り、水槽内の水を抜いて下さい。
- ④Aネジ6本を取り、前面のカバーを上を持ち上げて外してください。

- ⑤加湿器本体と接続しているダクトホースを引き抜いて下さい。  
この状態で加湿ユニットの交換、水槽の掃除が出来ます。



### ■ 水槽・振動子の手入れ

- ①吹出部、及び水槽上蓋を取り外します。
- ②排水を行い、水槽の汚れを柔らかいウエスなどで拭き取ります。
- ③振動子（丸い金属板）の表面は柔らかい布などで汚れを拭き取ります。決してドライバーなど固いもので削ったり、叩いたりしないで下さい。
- ④汚れを取り除いた後、給水タンクを入れて給水し、もう一度排水して水槽内部をクリーンにして下さい。



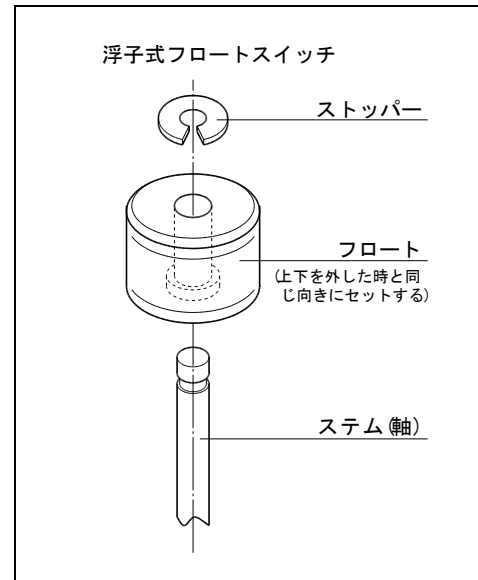
## ⚠️ 注意

水槽内、ダクトホース、噴霧ノズルは水質や空気中のホコリにより汚れやすいので、保健衛生上定期的に（3日に1度）清掃を行って下さい。生鮮食品、生物への加湿を行う場合は、毎日清掃を行って下さい。

## ■フロートスイッチの手入れ

FT-M20シリーズは浮子型フロートスイッチを使用します。

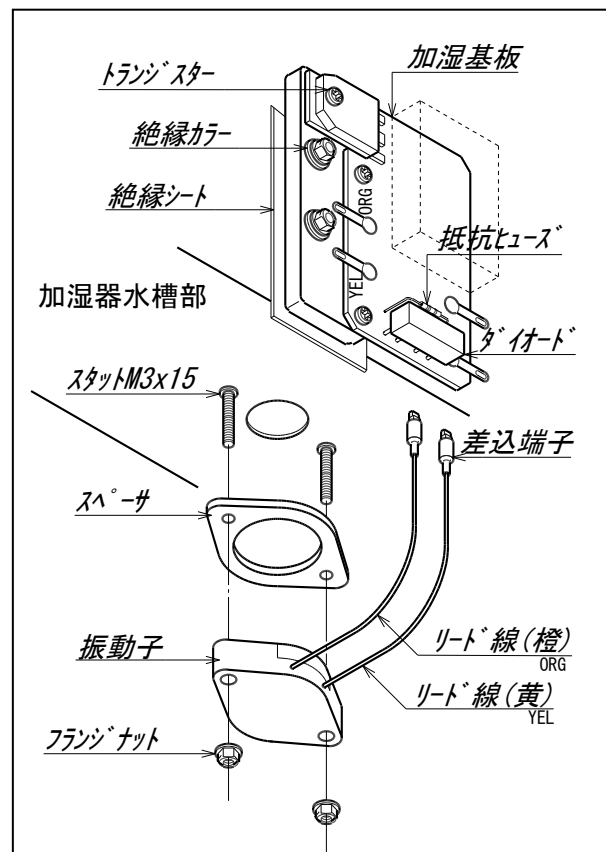
- ①通常はフロートを指で上下に動かし、スムーズに動けばOKですが、念のため、軸部、フロート部の汚れは丁寧に拭いて下さい。
- ②ストッパーを外し、軸フロートを拭いて掃除して下さい。
- ③フロートは、上下の向きが決まっています。見落としの無いように外す前に良く確認してから行って下さい。(フロート下部に磁石が来ます)



## ■振動子の点検・交換の仕方

水槽底部の振動子(丸い金属)は、長期間使用するうちに経年劣化し、霧化量が減少していきます。新しい振動子に交換することで、加湿量が蘇ります。

- ①振動子を留めている2個のフランジナットを外して下さい。(3mmナット用のボックスドライバ使用)
- ②基板に差し込んである黄色と橙色のリード線を抜き、振動子を取り外します。
- ③新しい振動子に交換し、フランジナットを締めます。このとき、片締にならないよう左右バランス良く締めて下さい。  
リード線の差込端子をYEL(黄色)、ORG(橙色)の表示通り差し込みます。



## <超音波振動子の交換(5,000時間程度)>

累計運転時間が約5,000時間になりましたら、振動子の交換時期です。早めに交換してください(振動子の交換時期は設置されている周囲の環境や水質、手入れの状況により早くなる場合があります。本器一年の保証期間中でも振動子の交換費用は実費請求させていただきます)。



## ■UVランプの手入れ（UVランプ搭載機種のみ）

ランプ外管（石英ガラス管）の汚れを柔らかい布などで拭き取ります。決してドライバーなど固いもので削ったり、叩いたりしないで下さい。ガラス管が破損することがあります。

## ■UVランプの交換方法

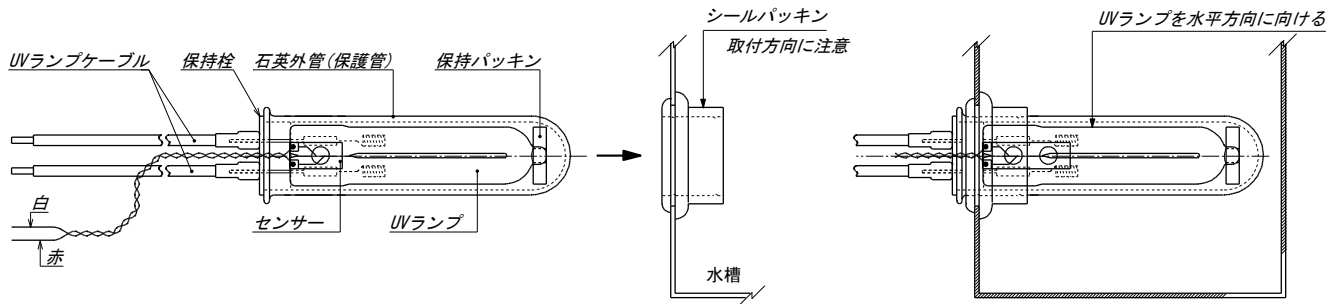
経年劣化によりランプが光量不足になると、センサーが働き加湿器本体を停止させます。それと同時に、トランスボックスの「UV不良表示ランプ」が点灯しますので、その際は最寄りの営業所にご連絡下さい（各営業所の連絡先は裏表紙に記載してあります）。

※UVランプの寿命は約10,000時間です。

※弊社から交換部品としてUVランプを出荷する際は、①石英外管（保護管）②保持パッキン③センサー④保持栓⑤ケーブルを組み合わせたセットで供給いたします。バラ売りはできませんのであしからずご了承ください。

### 【UVランプ交換手順】

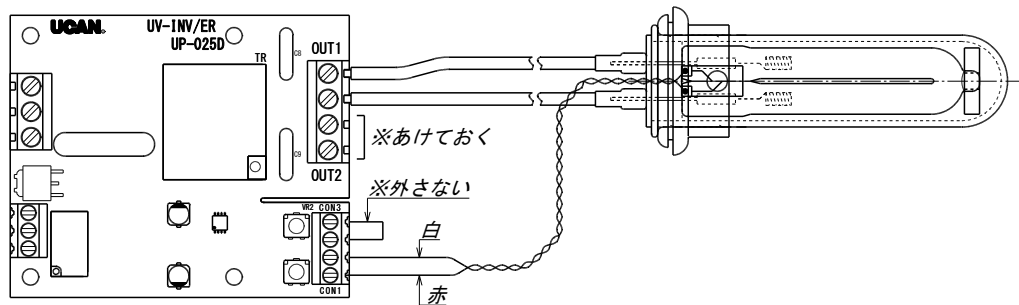
- ①「UV-INV基板」から、既設UVランプの電源ケーブルおよびセンサーのケーブルを抜きます。
  - ②「UVランプ」を石英外管ごと水槽部から抜きとります。
  - ③新しい「UVランプ」を水槽部シールパッキンに挿入します。このときシールパッキンがよじれたり外れたりしないようご注意ください。
- ※シールパッキンにキズや劣化がある場合は、新品に交換して下さい。漏水の原因になります。
- ④UVランプが水平になるように調整して下さい。



- ④ UVランプケーブルを“UV-INV基板”のOUT1またはOUT2に接続します。  
接続方法：端子台の上部にあるネジをゆるめ、ケーブルを差し込み、ネジを締め付けます。

※UVランプケーブルには極性はありません。

- ⑥同様に、センサーからのケーブルを“UV-INV基板”のCON1またはCON3に接続します。  
※センサーには極性がありますので、下図を参照の上、赤・白線の接続位置を間違えないように接続してください。また、わたり線がある場合はそのままにしておいて下さい。



## 4. トラブルシューティング

故障したとき、まず先に点検することは・・・

故障？	チェック	処置
給水されない	●給水タンクに水は入っていますか	●給水タンクに水を入れる
加湿器が作動しない	●電気はきていますか ●電源スイッチはONになっていますか	●テスターでチェックする ●スイッチを入れる
スイッチを入れても加湿器が作動しない	●加湿スイッチがOFFになっていませんか ●オーバーフローランプは点灯していませんか	●スイッチを入れる ●オーバーフロー口のキャップを外し排水する
霧の出方が少ない	●ダクトホース内に水が溜まっていますか	●傾斜をつける(先下がり)

以上を点検し、それでも解決しない場合は、原因を究明し、対処する必要があります。

### ■故障の原因

- ①霧化量が減少してきた状態で長時間運転を続けた場合、トランジスタが故障することがあります。
- ②横倒しや逆さまな状態で通電すると、フロートスイッチが入り、空運転してしまい、トランジスタが故障します。
- ③加湿量よりも給水量が少ない場合、ON-OFFを頻繁に繰り返し、故障することがあります。水圧最低0.03MPa(0.3kgf/cm<sup>2</sup>)
- ④トランスへの電圧を間違え、200Vを通電してしまったとき。(トランスのサージフィルタがパンクします)
- ⑤落雷など、大きなサージが入ったとき。
- ⑥基板の回路チェックにメガテスターを使用したとき。
- ⑦砂、石、鉄粉などが水槽に入ったままの状態、長時間運転を続けた場合。

### ■対処の仕方

- 霧化量が減少してきた場合（故障の原因①の場合）

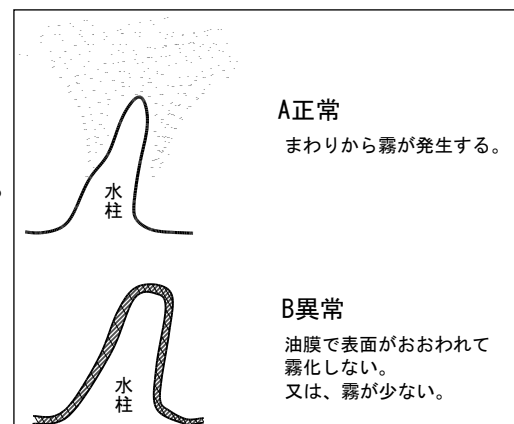
<設置後まもなくの時>

- ①水槽内の水に油成分、配管用接着剤などが混入している場合は、霧化が正常に行われません。電源を切ってから一度排水し、中性洗剤、スポンジタワシで水槽内を清掃後、再度給水して下さい。泡が消えるまで排水を続けます。

- ②電源電圧が低下していないかチェックして下さい。

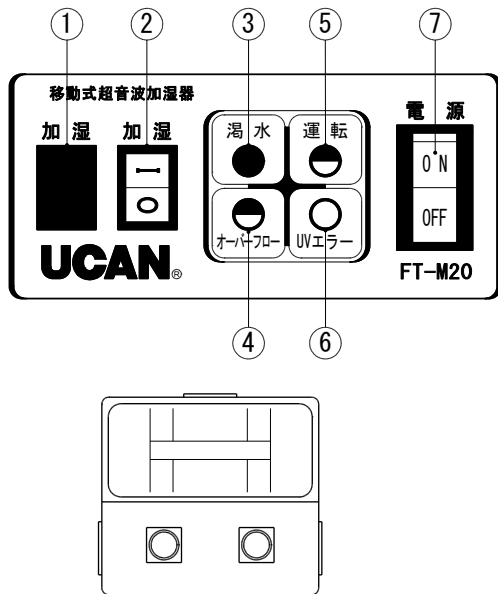
<長時間使用后>

- ①振動子の表面に汚れがたまっていないか調べて下さい。汚れている場合には、柔らかい布などで拭き取って下さい。
- ②振動子の表面を覆っているメッキがはがれていたり、傷ついている場合は振動子の寿命です。新しい振動子と交換して下さい。

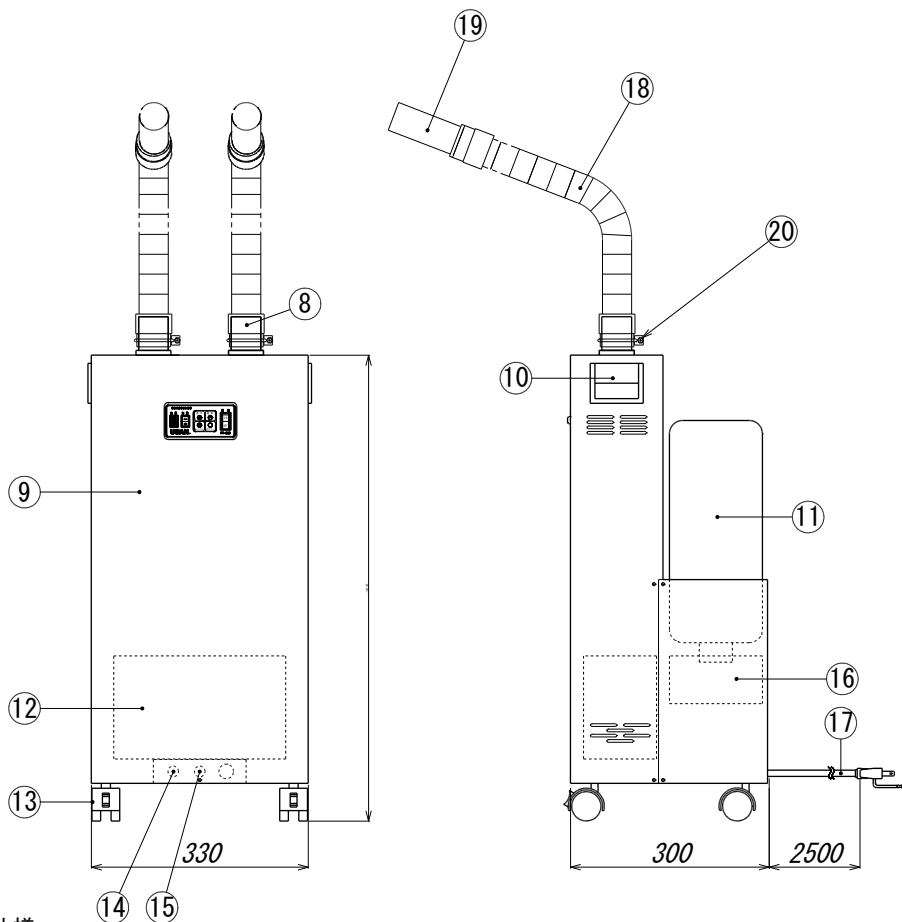


# 5. 外形寸法、仕様

FT-M20UV-HK1 外形仕様図



番号	品名	備考
①	加湿切替スイッチ	
②	加湿切替スイッチ	
③	満水表示ランプ	(赤)
④	オーバーフロー表示ランプ	(赤)
⑤	運転表示ランプ	(緑)
⑥	UVエラー表示ランプ	(赤)
⑦	電源ブレーカ	(3A)
⑧	噴霧口	(φ32)
⑨	加湿器本体(焼付塗装)	(746*リ)
⑩	取手	(746*リ)
⑪	ポリタンク	(13L)
⑫	加湿水槽部	SUS304
⑬	キャスター	前輪ストップ付き
⑭	オーバーフロー口	ABS樹脂
⑮	排水口(キャップ付)	ABS樹脂
⑯	ポリタンク受水槽	SUS304
⑰	電源コード	(AC100V)
⑱	ダクトホース	L=450
⑲	噴霧ノズル	標準付属品
⑲	ホースバンド	標準付属品

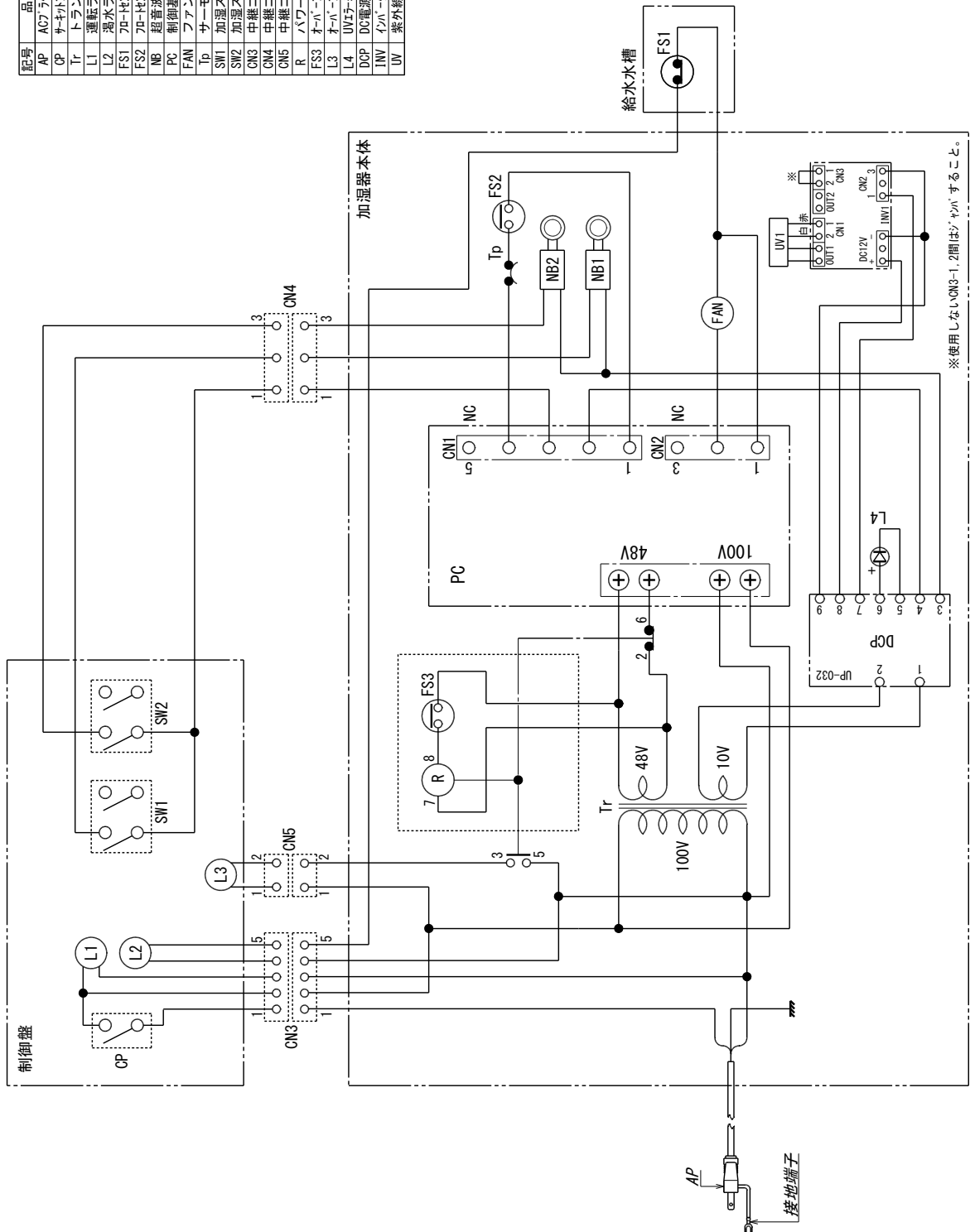


仕様

項目 機種	加湿量 (L/h)	加湿 ユニット数	電源	消費電力 (VA)	最大風量 (m <sup>3</sup> /min)	給水方式	安全機能	周囲条件	振動子交換 程度	重量(kg)
FT-M20UV-HK1	1.0	2	AC100V	81	1.05/1.25 (50/60Hz)	ポリタンク による 自動給水	満水防止 過電流防止 水温上昇防止 サーモistor電流保護	5℃~40℃ 90%RH以下	累積 5000時間 程度	32.0 (タンク満水)

# FT-M20UV-HK1 電気結線図

記号	品名	備考
AP	ACアダプタ	2P 7-14付
CP	リモコン	TPR-30-1-108-3-3W
Tr	トランス	100V/48V/10V
L1	運転ランプ	BN-9E/G
L2	湯水ランプ	BN-9E/R
FS1	70-100V (給水用)	FS-0684A
FS2	70-100V (空焚防止用)	FS-0683A
NB	超音波加湿器ユニット	UP-015A
PC	制御基板	UP-003E
FAN	ファン	R8500 AC100V
Ip	サーモプロテクタ	55°C OFF
SW1	加湿スイッチ1	A8L-21-11N2
SW2	加湿スイッチ2	A8L-21-11N2
CN3	中継コネクタ	3P
CN4	中継コネクタ	2P
R	パワーリレー	HH62S AC48V
FS3	オハ-70-70-70-70	FS-0684A
L3	オハ-70-70-70-70	BN-9E/R
L4	UVランプ	LED
DCP	DC電源	UP-032
INV	インバータ	UP-025
UV	紫外線ランプ	6UL1.2



## UVランプ注意事項、および仕様

### 1) 注意事項

本加湿器にはUVランプが取り付けられています。

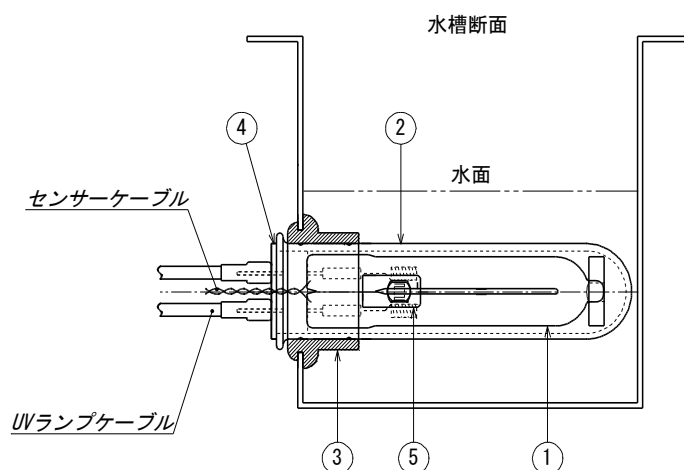
- ※ UVランプが光量不足や消灯状態になると、電源スイッチパネルにある「UVランプエラー表示ランプ」が点灯し、加湿器が停止します。すぐに、UVランプを交換してください。(UVランプの寿命は約10,000時間です。)
- ※ UVランプ外管(石英ジャケット)表面が汚れると殺菌能力が低下しますので、定期的にウエス等で汚れを拭きとって下さい。
- ※ UVランプは水槽内を殺菌しますが、接続されているダクトホース内、噴霧ノズルには有効では有りません。それらを定期的に清掃して下さい。



#### 使用上の注意

- ・裸眼でUVランプを見ないで下さい。
- ・皮膚に長時間照射しないでください。

### 2) 仕様



No.	品名	型式
①	紫外線ランプ	GUL 1.2
②	石英外管	φ18, L=70mm
③	シールパッキン	UVP-001
④	保持栓	UVP-002
⑤	センサー	UVS-cds

## 定期清掃

メンテナンスをはじめる前に

- ・電源プラグをコンセントから抜く。
- ・ポリタンクを抜く・排水、オーバーフロー口から、排水する。



必要工具

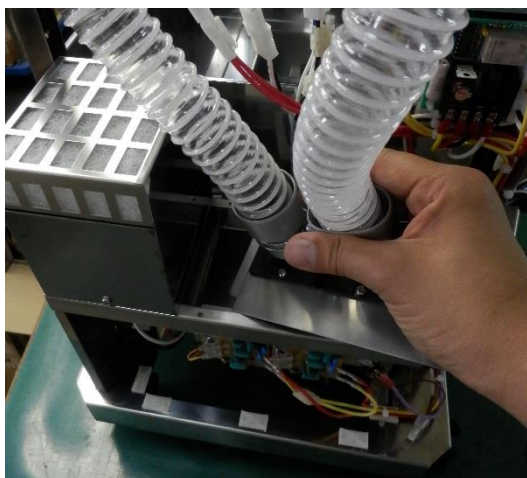
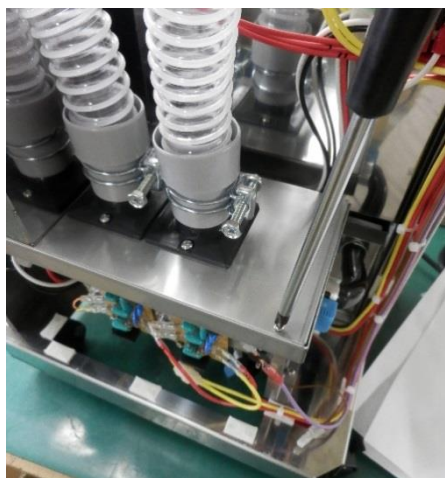
- ・プラスドライバー (No. 2)
- ・ウエスなどのやわらかい布

- ・本体カバーを固定している M4 トラスネジ × 7 ヶ所をはずし、本体カバーを取りはずす。



## 水槽部

「水槽上蓋」を固定している M3 ネジ×2 ヶ所をはずし、「水槽上蓋」をはずす。  
(ダクトホースは接続したまま作業します。)



① 水槽上蓋右端の M3 ネジをはずす。

② 蓋を右上方に引き出す。

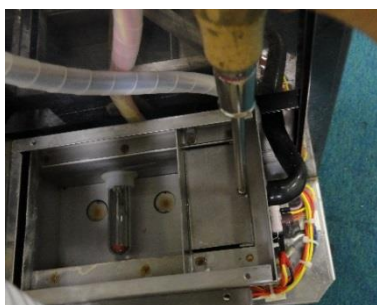
<上蓋の清掃>

・ウエスで上蓋の汚れをふき取る。

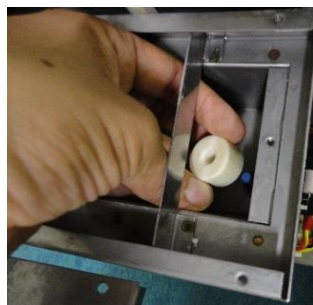
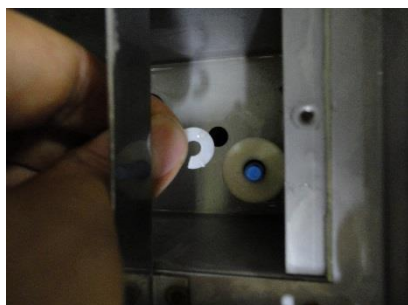
※水槽上蓋が汚れていると、その汚れが水槽内に流れ込んでしまいます。

## フロートスイッチ

水槽部右側にある「水槽部仕切板」を固定している M3 ネジ×1 ヶ所をはずし、「水槽仕切板」をとりだします。



・「ストッパ」を取りはずし、「フロート」を抜き取ります。



- ・「フロート」に付着した汚れやぬめりをふき取ってください。
  - ・フロートスイッチの「軸部」の汚れやぬめりをふき取ってください。
- ※汚れによってフロートスイッチがスムーズに動作しなくなると、誤作動や故障の原因になります。



上面側



下面側



- ・フロートスイッチ周辺の清掃後、フロートスイッチを元の状態にもどします。  
「フロート」には上下があるので、間違えないように組立ててください。
- ・「ストッパ」は“突起”のある面がフロート側になります。

### UV ランプ

やわらかい布(ウエス)等で、UV ランプ表面の汚れをふき取ってください。  
(汚れが付着すると、殺菌能力が低下します。)



### 振動子

やわらかい布(ウエス)等で、振動子表面の汚れをふき取ってください。  
(汚れによって加湿能力が低下したり、振動子の劣化を早めたりします。)

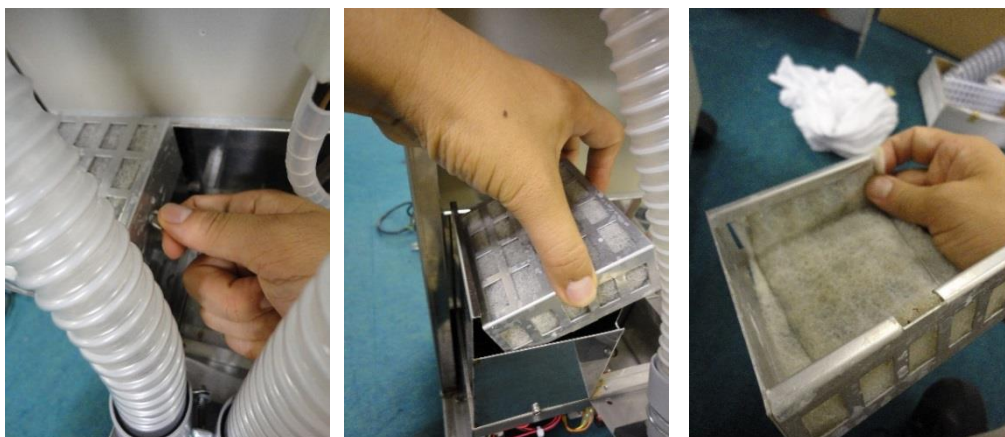


以上で水槽の清掃は終了です。水槽仕切板、水槽上蓋を元の状態にもどしてください。また、水槽上蓋のダクトホースを固定しているホースバンドにゆるみがないか確認してください。



## フィルター

- ・フィルター右側にある蝶ネジ×1ヶ所をはずし、フィルターを取り出す。



- ・「フィルターエレメント」を固定している「押さえバネ」をはずして「フィルターエレメント」を取り出す。(フィルター枠の“切り欠き部”から「押さえバネ」の先端を抜き出すと簡単にとりはずせます。)



- ・「フィルターエレメント」の汚れを手ではたいて落としてください。  
汚れがひどい場合は水洗いし、良く乾かしてください。  
※フィルターエレメントが汚れると空気の流れるなくなり、霧の出が悪くなります。

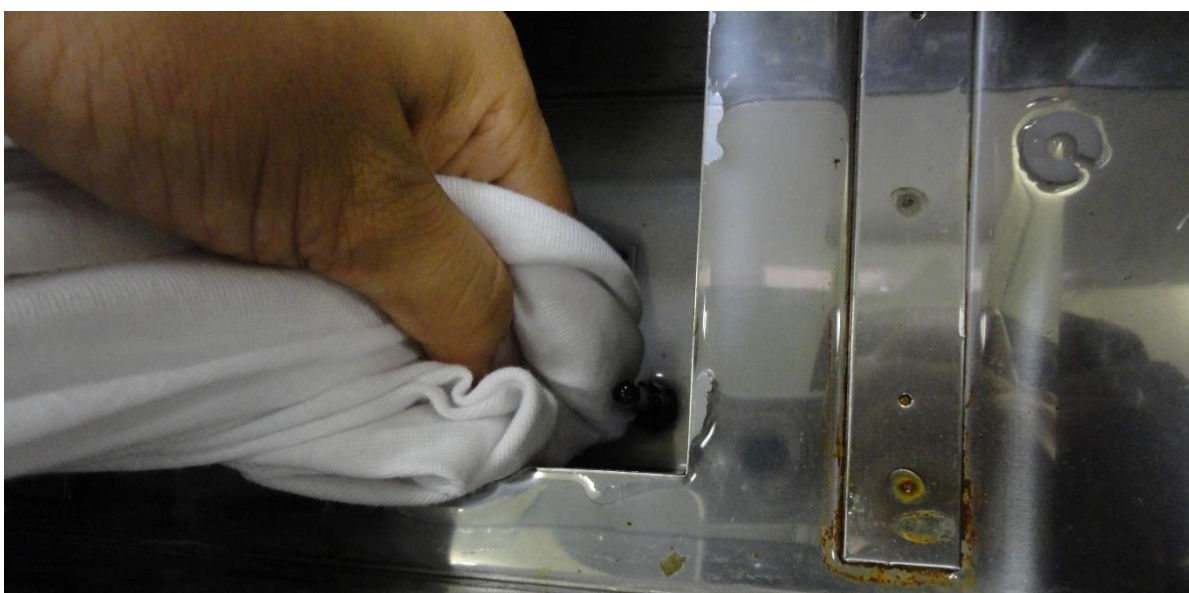
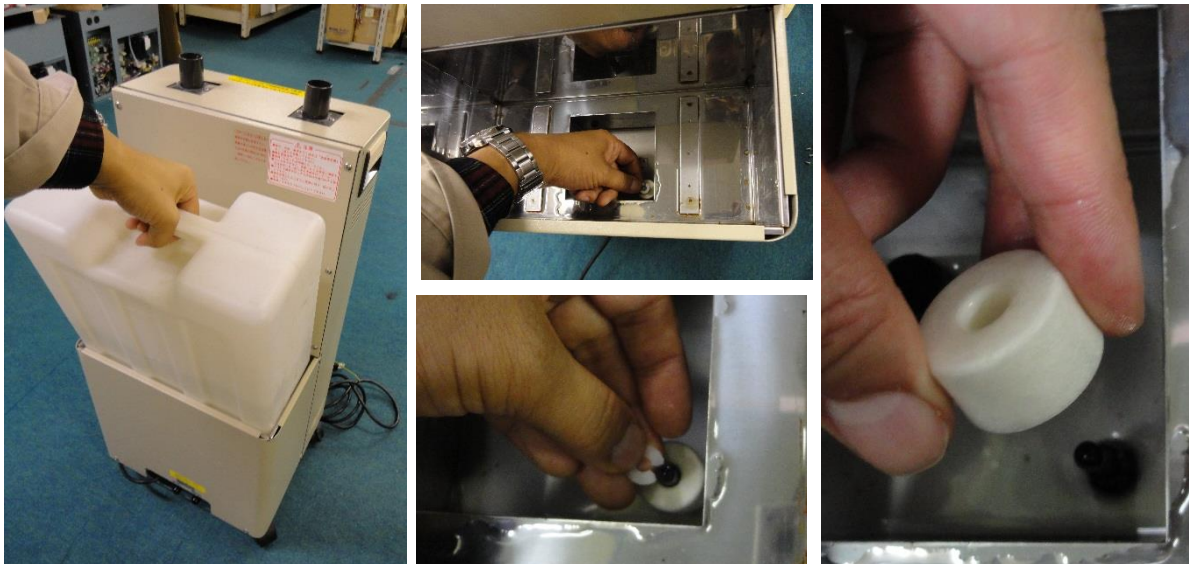


- ・「フィルターエレメント」の清掃後、元の状態にもどします。

## 給水水槽

ポリタンクを抜き出すと、給水水槽が現れます。

水槽部と同様、水槽内の汚れをふき取り、フロートスイッチ周辺の清掃を行ってください。  
※給水水槽に汚れがたまると、配管のつまりが発生し、本体内の水槽に水が供給されなくなることがあります。



## ダクトホース

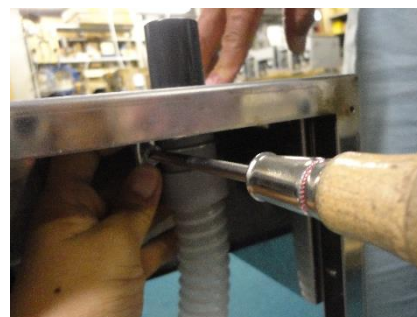
ダクトホースは、汚れがひどい場合、本体から取り外して水洗いしてください。

### 取り外し方法

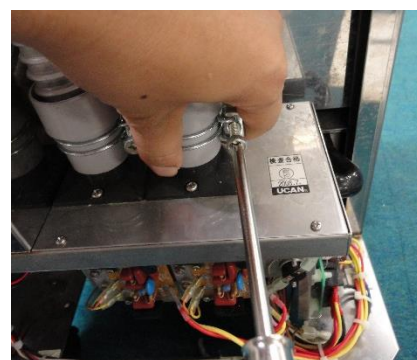
- ・ 本体背面のカバーをはずす。



- ・ ダクトホースを固定しているホースバンドのネジをゆるめ、ダクトホースを抜きます。



- ・ ダクトホースの他端は、水槽上蓋に接続されています。同様に取り外してください。



## 消耗部品交換

メンテナンスをはじめる前に

- ・電源プラグをコンセントから抜く。
- ・ポリタンクを抜く
- ・排水、オーバーフロー口から、排水する。

## 振動子交換

必要工具：ボックスドライバー：M3用(対辺5.5)

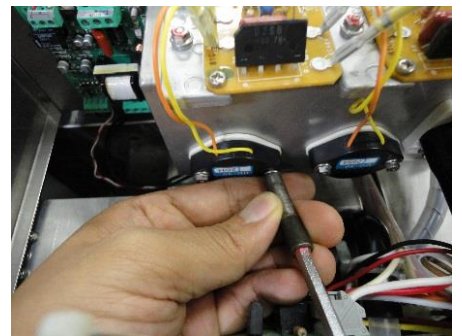
プラスドライバー：No.2

※振動子交換は、本体を横倒しにすることで容易に行えます。  
排水をしっかり行い、給水水槽の水をふき取ってください。



### 取り外し

・本体下部の角穴からボックスドライバーを通して、振動子を固定している M3 フラジ ナット×2 ヶ所を取り外す。

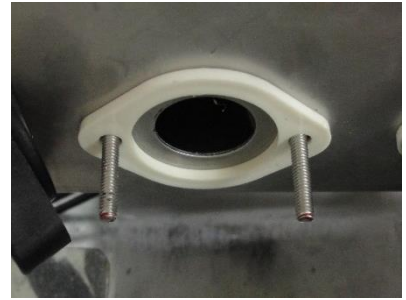


・水槽底面から振動子を取り外し、基板からコネクタを抜く。

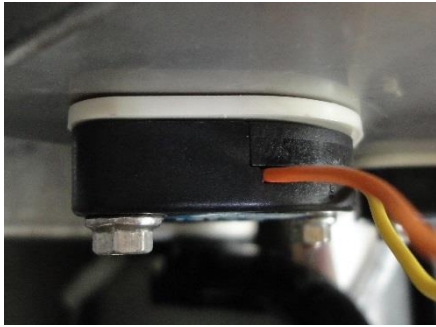


## 取付方法

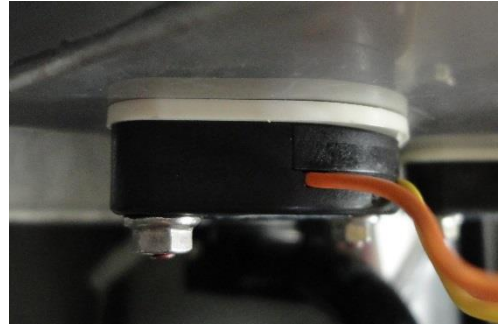
- ・ 振動子の取付位置に「スペーサ」を取り付ける。  
(スペーサには裏表があります。右写真参照。)
  - ・ 新品の振動子を取り付ける。
- ※振動子のケーブルが基板側に出る様に取り付けてください。  
※M3 フランジナットで固定する際、締め付けすぎると、スタッドボルトが折れることがありますのでご注意ください。



## ナットの締め付けについて



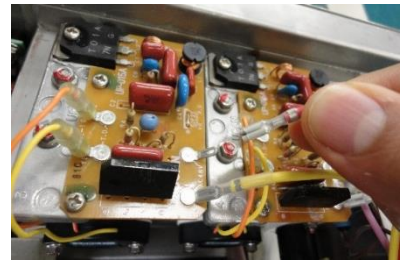
締め付け不足：振動子とスペーサに隙間あり



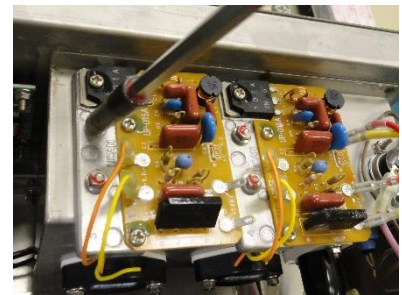
締め付け一良：隙間がない。

## 基板交換

- ・ 基板に接続されているケーブル×4本を抜く。

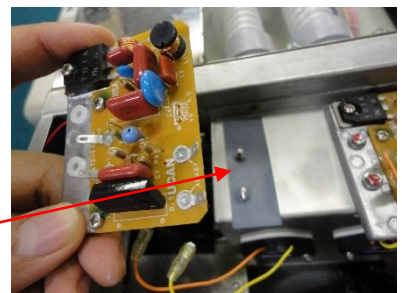


- ・ 基板を固定している M3 フランジナット×2ヶ所を取り外し、基板をはずす。



- ・ 絶縁シートを新品と交換する。

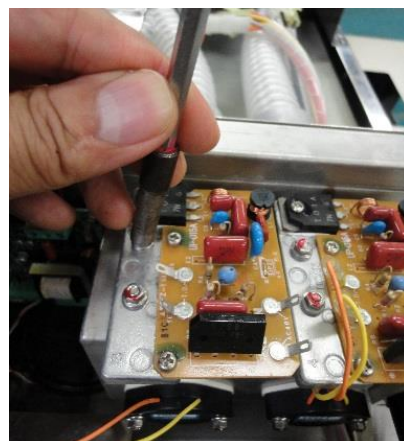
絶縁シート



- ・新品の基板を仮置きし、絶縁カラーを挿入する。



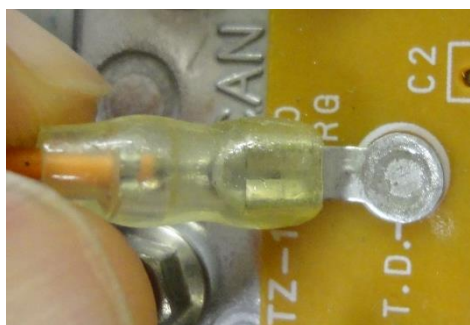
- ・ M3 ワンズナットで基板を固定する。  
(基板のアルミ放熱板が、水槽部にしっかりと密着する様に締め付けてください。あまり強く締めすぎるとスタッドボルトが折れることがあるのでご注意ください。)



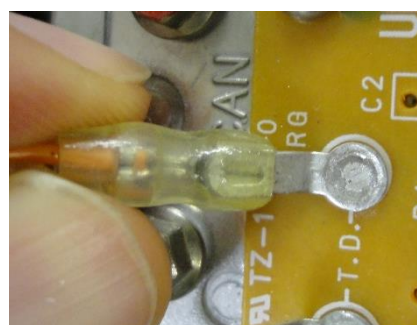
- ・ 基板取付後、下の写真通りに結線してください。



### コネクタの差込について



差込一良



差込不良：口金に入っていない

## UV ランプ交換 (UV ランプ搭載機種のみ)

必要工具

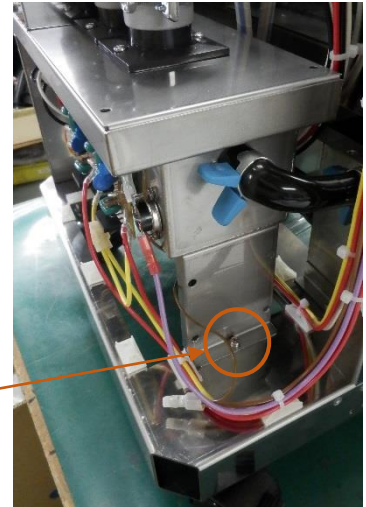
ドライバー : No. 2

ラジオペンチ

精密マイナスドライバー : 刃幅 2.3mm

UV ランプを交換するため水槽部 (M4 ネジ×3 ヶ所で固定) をはずします。

水槽部右下固定ネジ M4

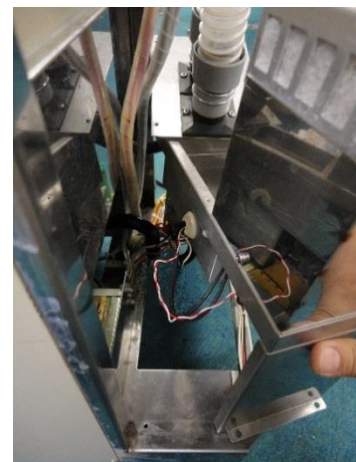


- ・ 水槽左下部を固定している M4 ネジ×2 ヶ所をはずす。

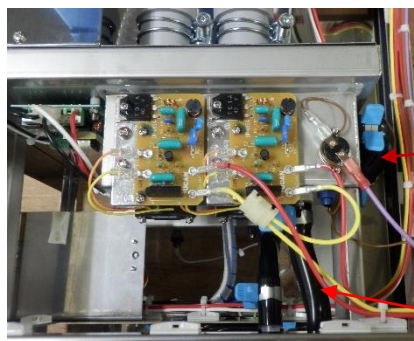
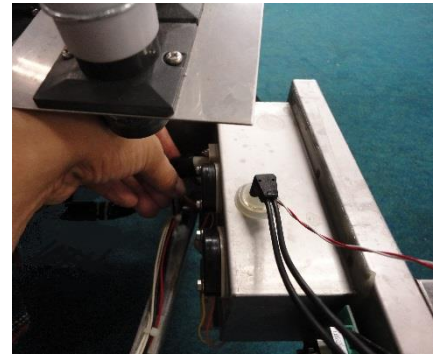
水槽部左下固定ネジ M4×2



- ・ 水槽部を持ち上げて取り外します。  
その際に、水槽部右側の排水ホース、オーバーフローホースを水槽部からはずします。



- ・片手で水槽部を保持しながら、排水ホース、オーバーフローホースを水槽部からはずします。



オーバーフローホース

排水ホース

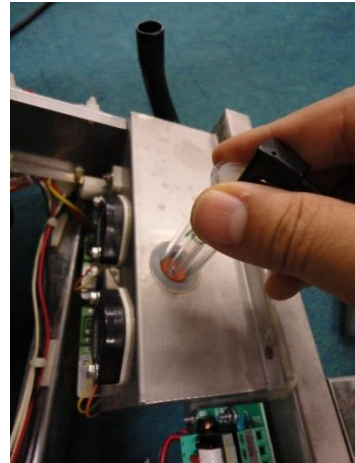
正面より



## UV ランプ

### UV ランプの取り外し

- ・水槽部から UV ランプを引き抜く。



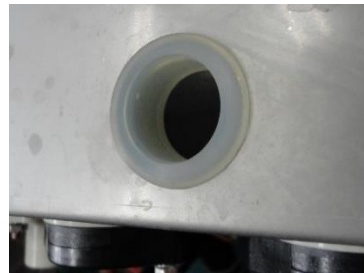
- ・ UV ランプからのケーブル(黒線 2 本、赤、白線各 1 本)を「UV-INV 基板」からはずす。
- ・ 水槽についている UV ランプ保持用グロメットをはずす。

### UV ランプの取り付け

- ・ UV ランプセット送付時に UV ランプ外管についているグロメットを外し、水槽内側から取り付けてください。

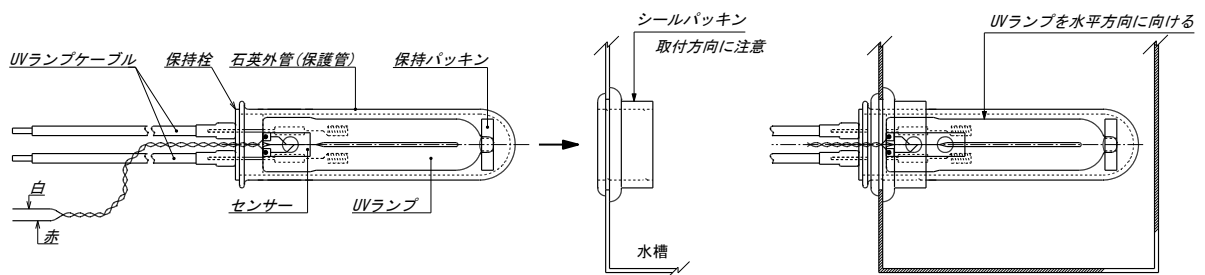


水槽内側

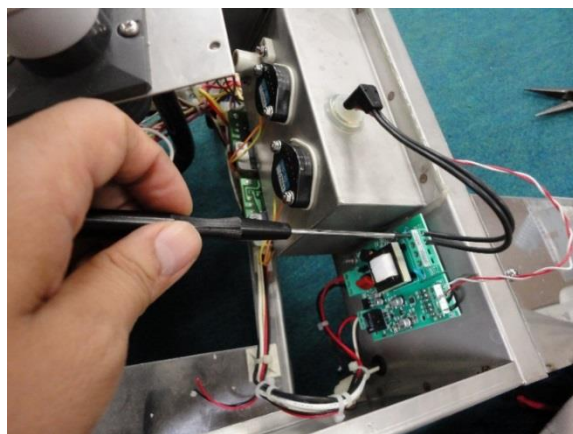


水槽外側

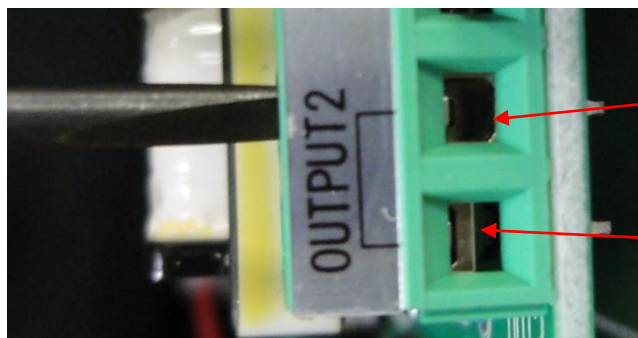
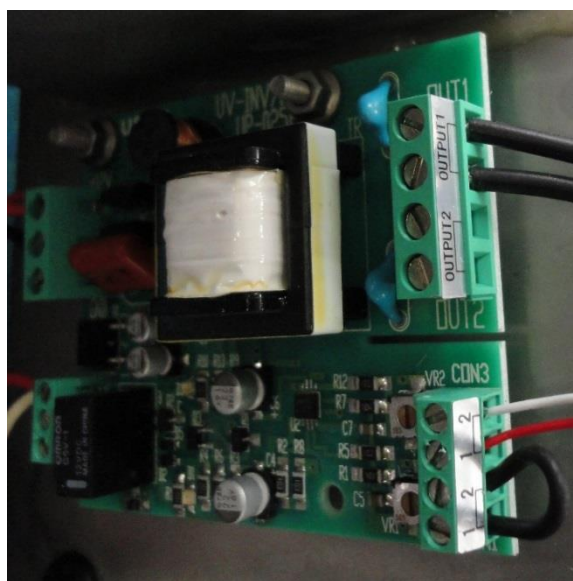
- ・ グロメットがしっかりとハマっていることを確認してから、UV ランプを挿入する。



・UV ランプからの電源線(黒線)を OUTPUT1 に接続する。※極性はありません。



・UV 不良センサー線(赤、白)：  
赤：CON3-1  
白：CON3-2  
に接続する。  
※CON1 のジャンパー線はそのままにしておいてください。



端子台：全開

端子台：全閉

※端子台締め付け後、各ケーブルを軽く引っ張り、抜けないことを確認してください。

## 復旧

- ・水槽部右脚をネジ固定する。

水槽部右下固定ネジ M4

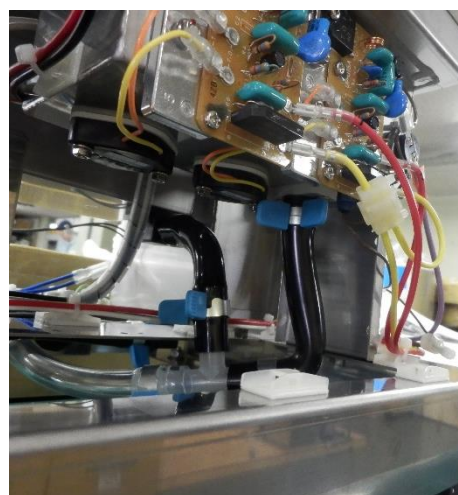


- ・水槽部左脚をネジ固定する。

水槽部左下固定ネジ M4×2

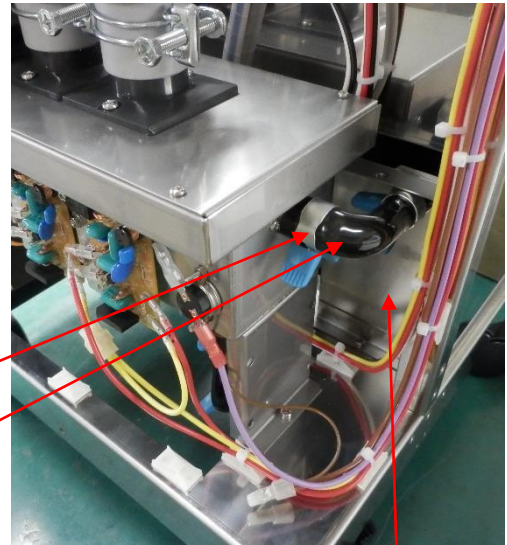


- ・水槽部右下にある排水口に排水チューブをしっかりと差し込む。



- ・水槽部右側のオーバーフロー口 — オーバーフロータンク間をオーバーフローチューブで接続する。

オーバーフロー口  
オーバーフローチューブ



オーバーフロータンク

#### 作業後チェック

- ・振動子の取付確認(ナット、スペーサの状態確認)。
- ・振動子ユニット基板の取付確認(絶縁カラー、絶縁シート、ナットの状態確認)。
- ・基板への配線確認(配線色、コネクタの差込確認)。
- ・水槽部の足元固定(ガタツキはないか? ケーブルのかみ込みはないか?)。
- ・制御基板: UP-003E の固定確認。
- ・排水ホース接続確認。
- ・オーバーフロー口からオーバーフロータンク間のホース接続確認。
- ・各ホースのホースバンド取付確認。

以上、問題がなければ、「水槽仕切板」「水槽上蓋」を元通りにネジ固定してください。  
その状態で水槽上蓋のダクトホース接続部にゆるみがないか確認してください。  
ホースバンドがゆるんでいる様であれば、ホースバンドをドライバーで締付けてください。  
※ホースバンドは均等にしまるよう注意してください。ななめになっていたりすると水漏れの原因になります。

「本体カバー」を元通りにネジ固定し、噴霧口に「フレキホース」を取り付けます。ホースバンド固定時は均等に締付けるようにしてください。

「オーバーフロー口」「排水口」のキャップを確認します。

以上でメンテナンス終了です。



## 保証期間

1. 本製品の保証期間は、工場出荷後一年間です。
2. 保証期間中の「正常な使用状態」において「製造上」の責任による故障が発生した場合は無償修理を行います。
3. 保証期間中でも次の場合には有償修理になります。
  - (イ) 取扱説明書の説明をお守りにならなかったために発生した故障の場合。
  - (ロ) 故障原因が本器以外による故障の場合。
  - (ハ) お客様が商品に改造を加えたために発生した故障の場合。
  - (ニ) 火災、震災などの天災地変による故障および損害。
  - (ホ) お買い上げ後の輸送、移動などによる故障の場合。
  - (ヘ) 振動子交換。
4. 遠隔地への出張サービスを行った場合の宿泊および交通の費用は、弊社旅費規程によりその費用を請求させていただきます。
5. 本商品の保証修理以外での補償は致しかねます。
6. 本保証は日本国内においてのみ有効です。

お問い合わせ、ご用命は

**UCAN**<sup>®</sup>

**ユーキャン株式会社**

本社 ●〒193-0832

東京都八王子市散田町5-6-19

東京営業所 ●〒160-0022

TEL. 042-665-8846 FAX. 042-661-3887

東京都新宿区新宿1-1-7 コスモ新宿御苑ビル

大阪営業所 ●〒541-0046

TEL. 03-5379-1461 FAX. 03-5379-1460

大阪市中央区平野町1-7-14 平野町グランドビル

名古屋営業所 ●〒460-0002

TEL. 06-6227-1317 FAX. 06-6227-1319

名古屋市中区丸の内3丁目2-1-23 宇佐美丸の内ビル

福岡営業所 ●〒812-0027

TEL. 052-385-3298 FAX. 052-385-3606

福岡市博多区下川端町1-3 明治通りビジネスセンター別館

TEL. 092-281-9241 FAX. 092-281-9244

なお、記載された商品の仕様・デザインなどは、改良のため予告なく変更することがございます。ご了承下さい。

<http://www.ucan.co.jp/>  
[info@ucan.co.jp](mailto:info@ucan.co.jp)

2191001